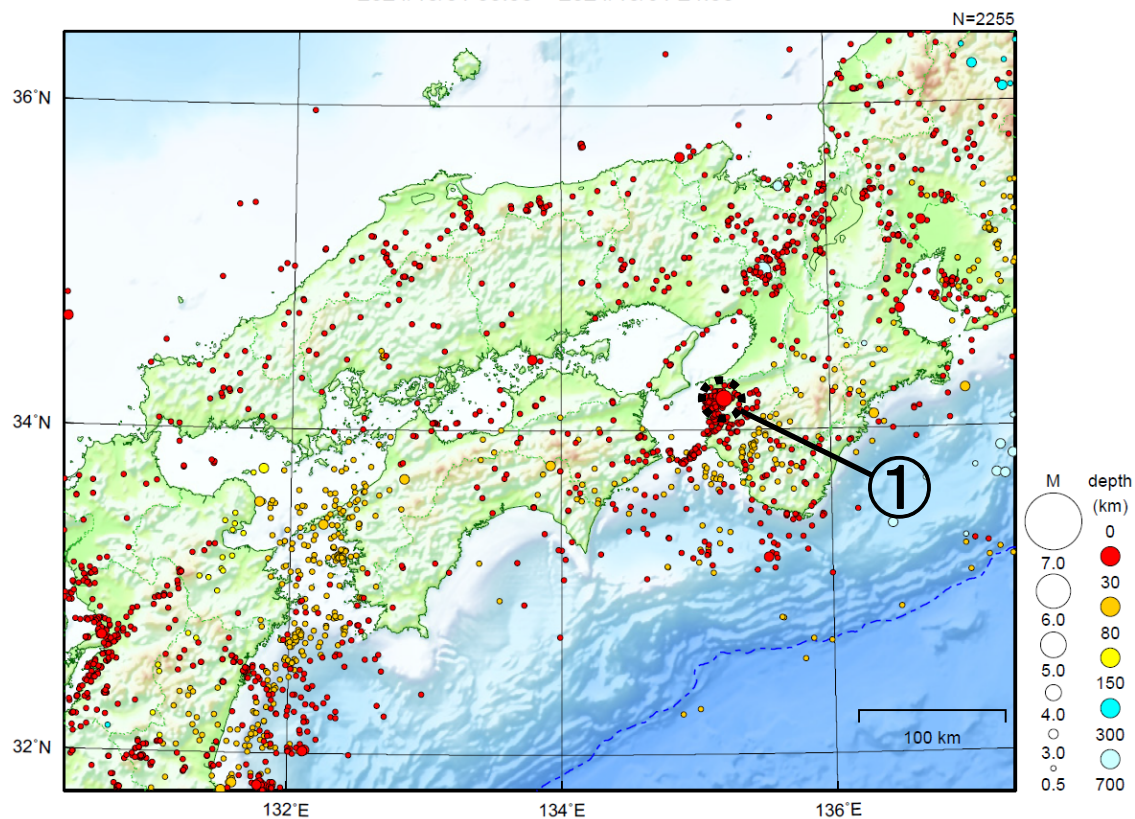


近畿・中国・四国地方

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00



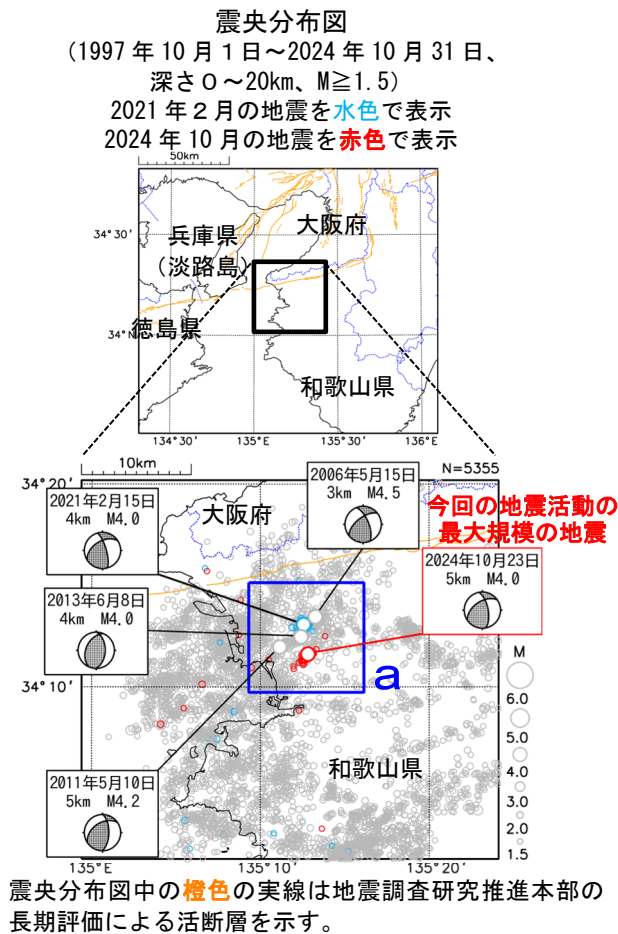
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 和歌山県北部では、10 月 23 日から 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 12 回（震度 3：1 回、震度 2：4 回、震度 1：7 回）発生した。このうち最大規模の地震は、23 日に発生した M4.0 の地震（最大震度 3）である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

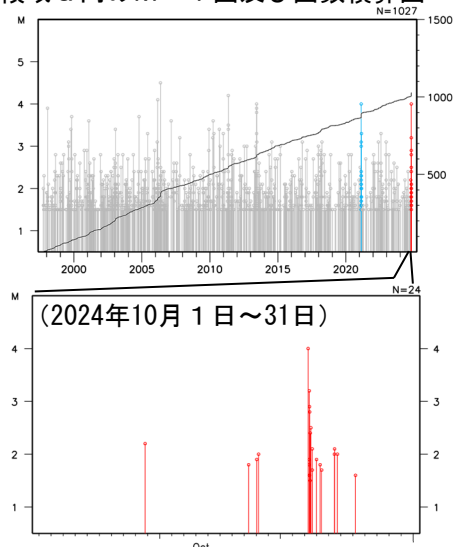
気象庁・文部科学省

10月23日からの和歌山県北部の地震活動

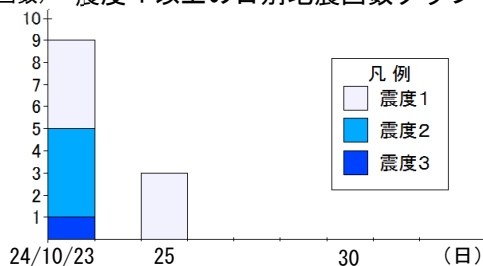


震央分布図中の**オレンジ色**の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図



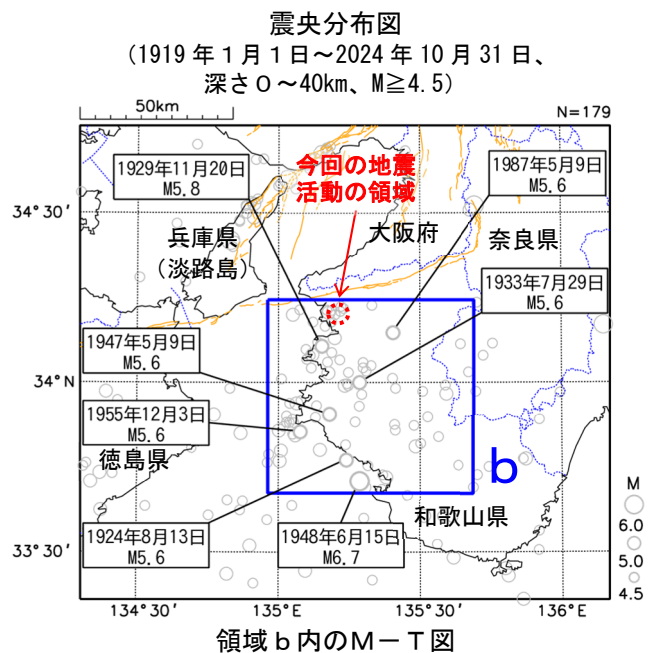
(回数) 震度1以上の日別地震回数グラフ



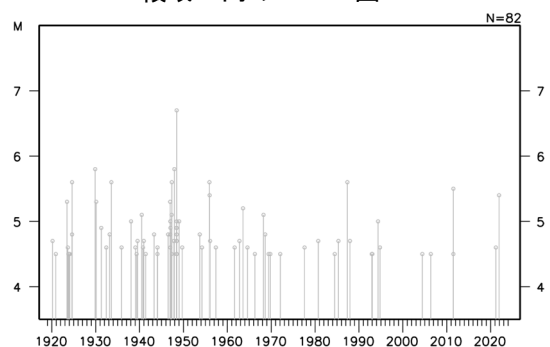
和歌山県北部では、2024年10月23日07時頃からややまとまった地震活動がみられ、23日から31日までに震度1以上を観測した地震は12回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、23日07時08分に発生したM4.0の地震（最大震度3）である。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。地震回数は時間の経過とともに減少してきている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震活動付近（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域である。最近では、2021年2月に地震活動が活発となり、2月15日から28日までに震度1以上を観測した地震が25回発生した。このうち最大規模の地震は、2月15日に発生したM4.0の地震（最大震度4）である。

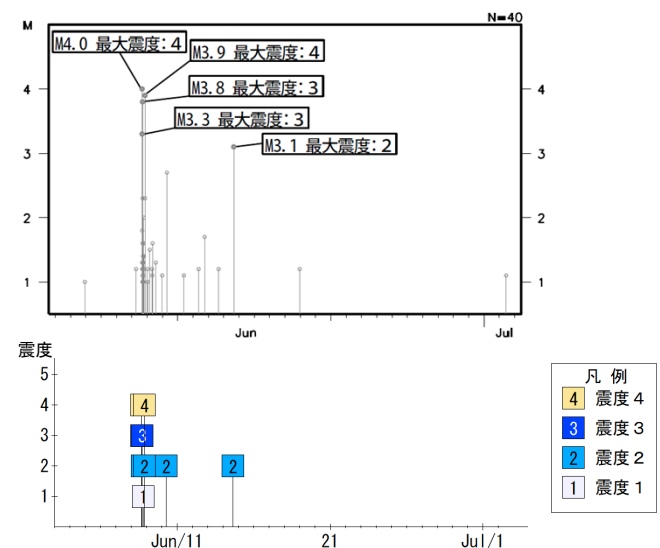
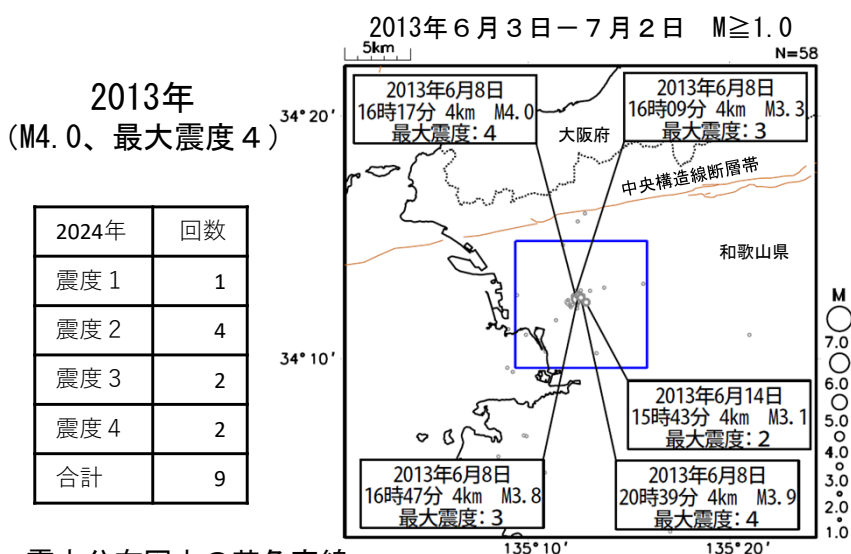
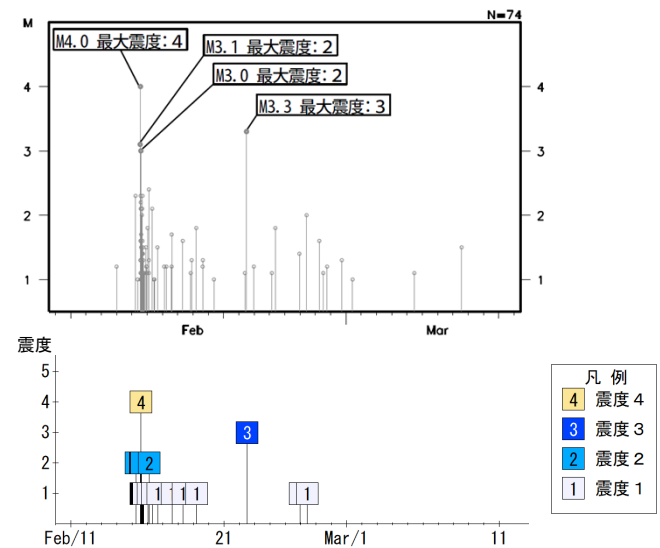
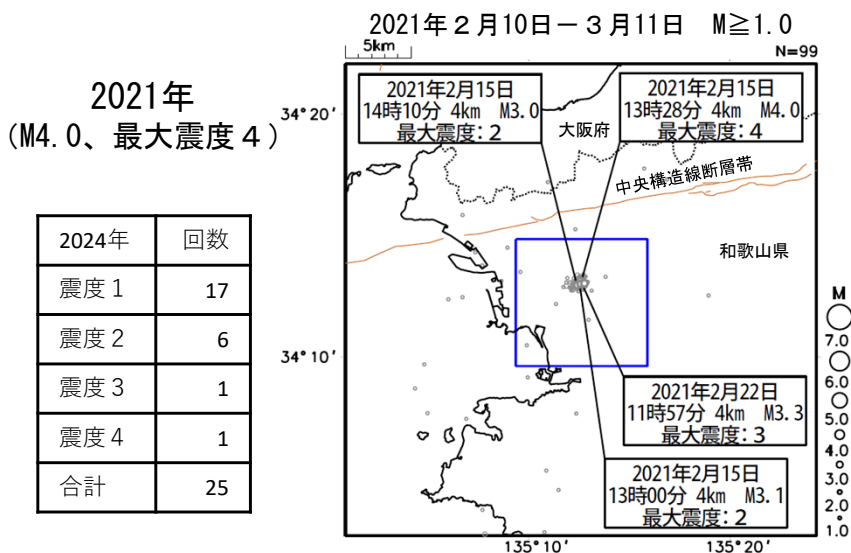
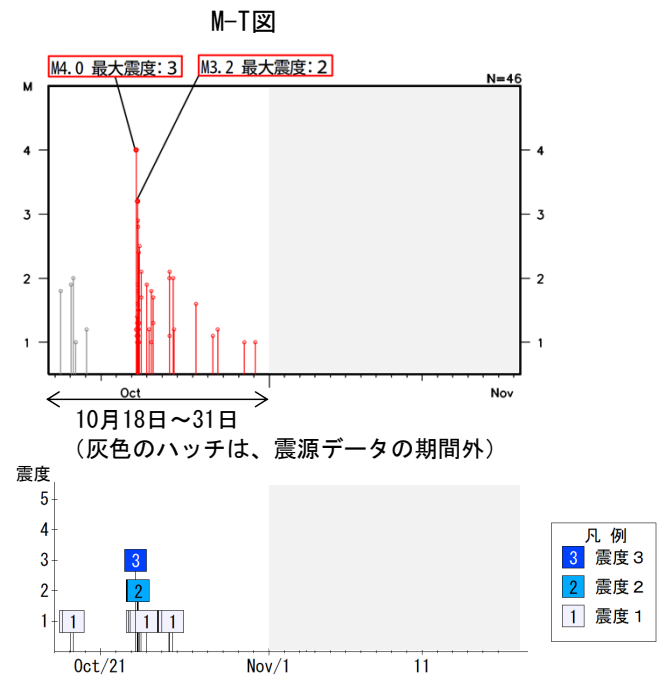
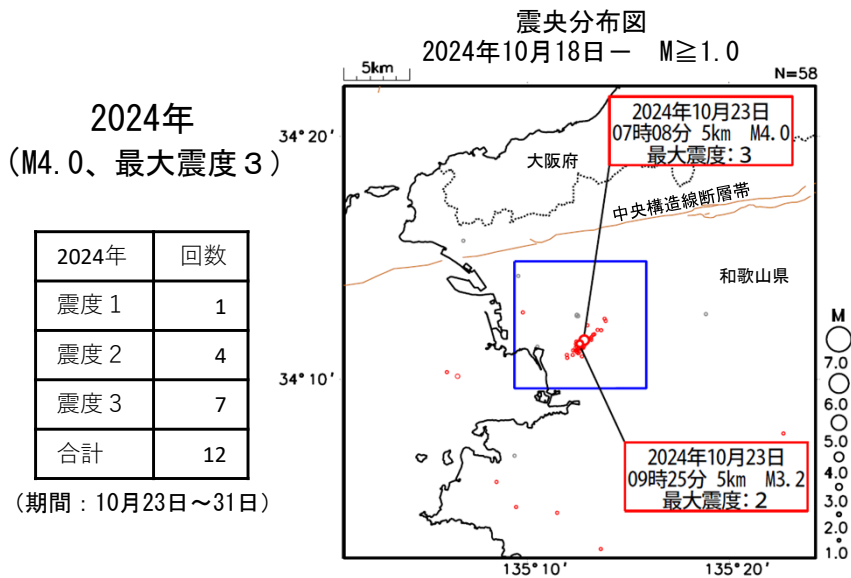
1919年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域b）では、M5.0を超える地震が時々発生している。このうち、1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域b内のM-T図

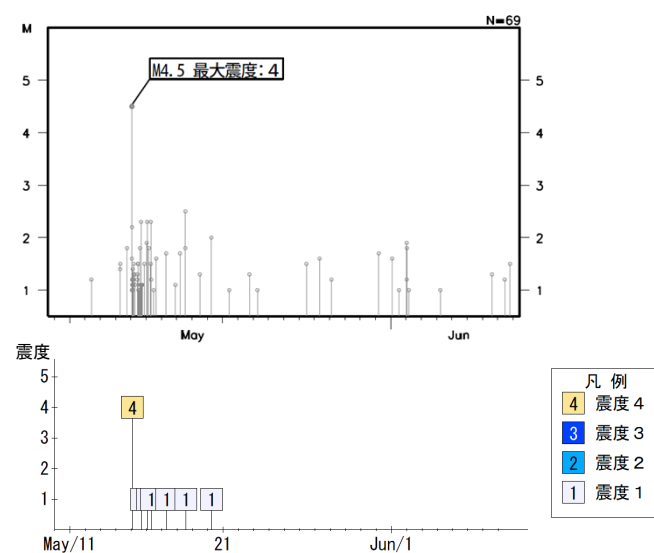
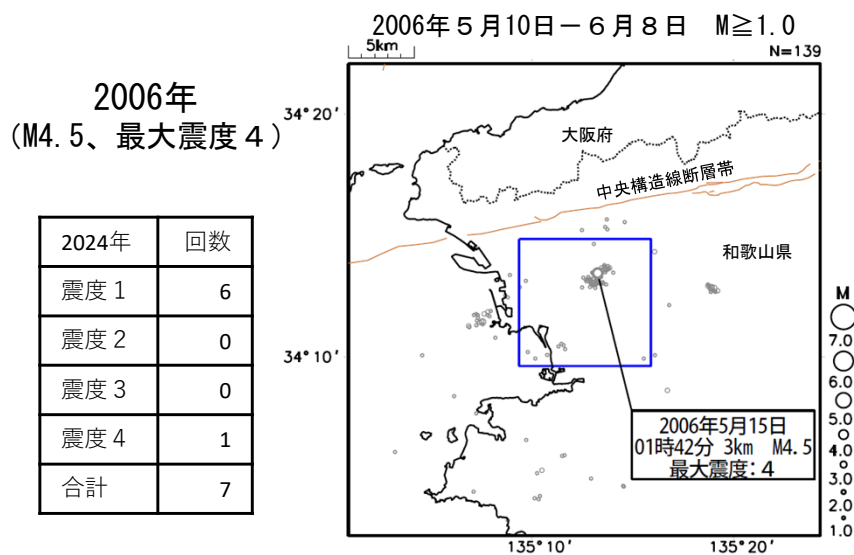
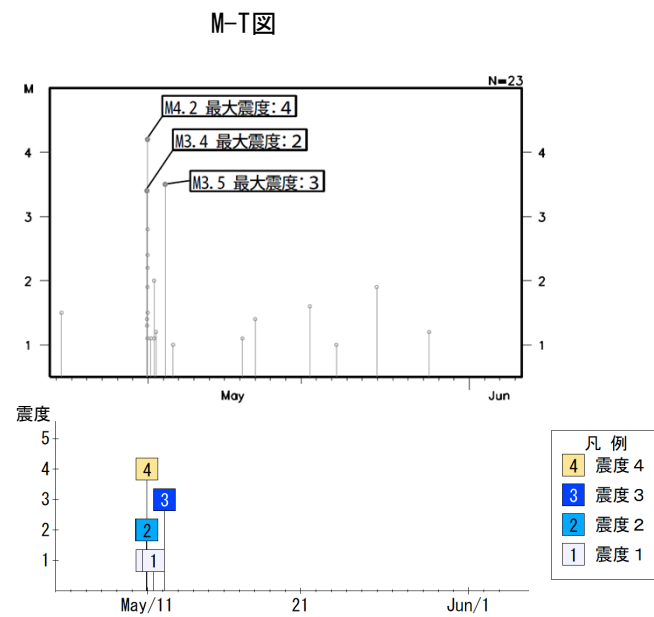
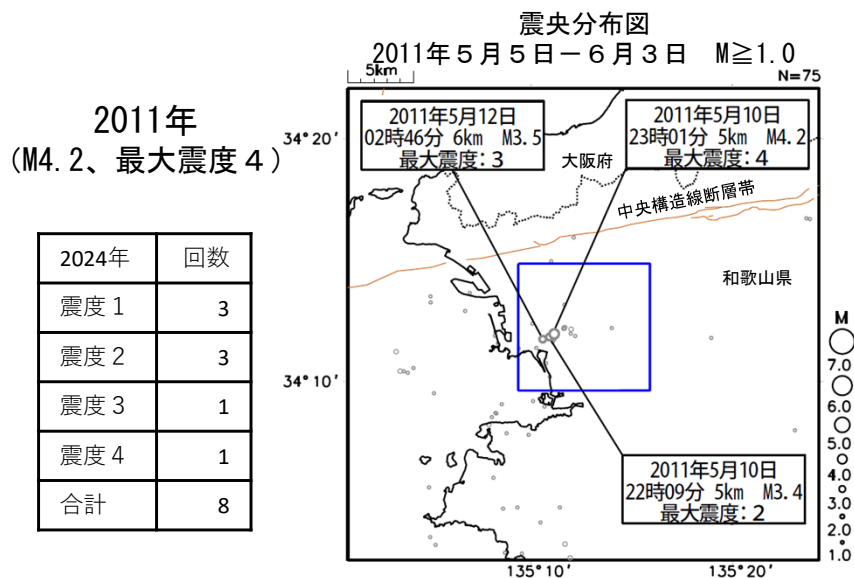


和歌山県北部で発生した過去の地震との活動比較（1か月間）



震央分布図中の茶色実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

和歌山県北部で発生した過去の地震との活動比較（1か月間）



震央分布図中の茶色実線
は地震調査研究推進本部
の長期評価による活断層
を示す